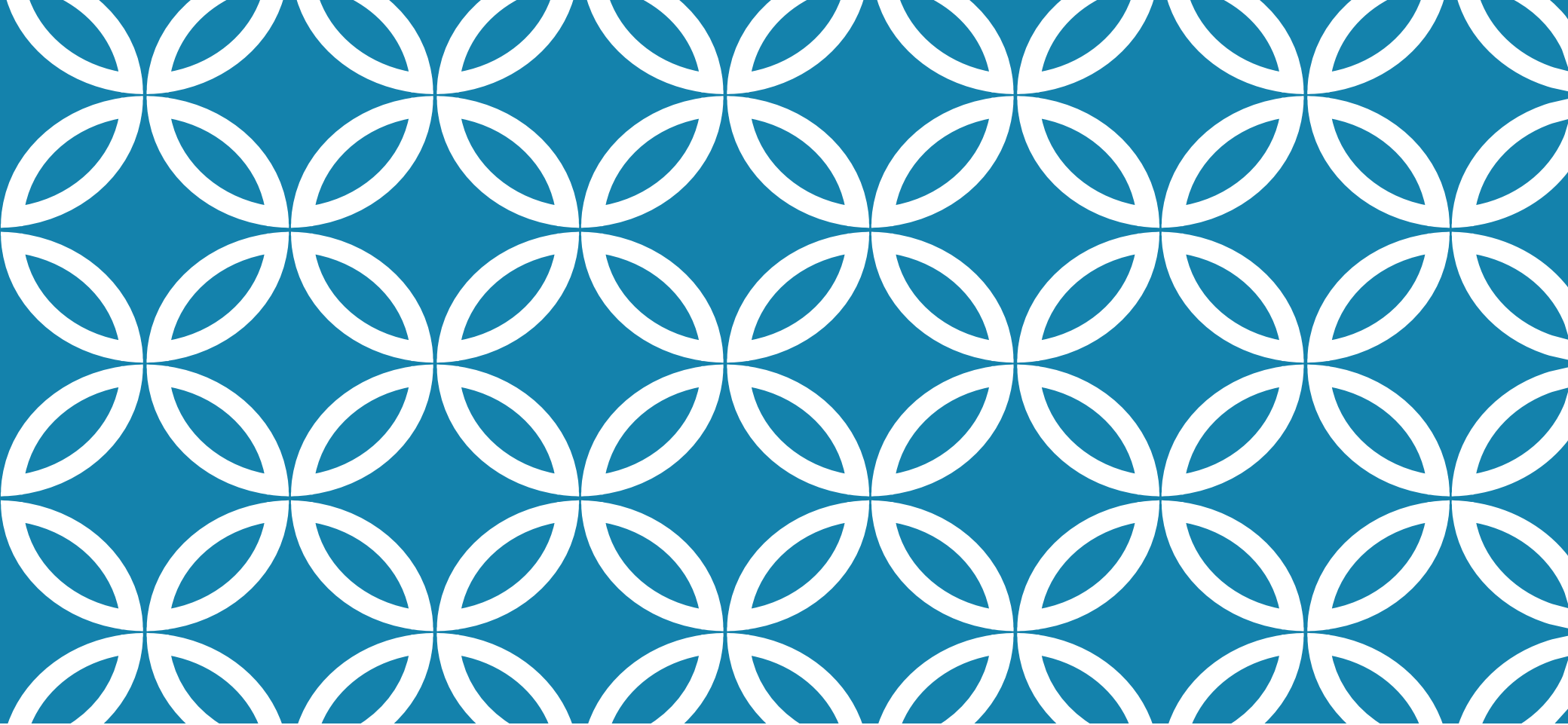




がん登録からわかる
山陰労災病院の胃がんと大腸がん
(2017年症例)

山陰労災病院

院内がん登録担当

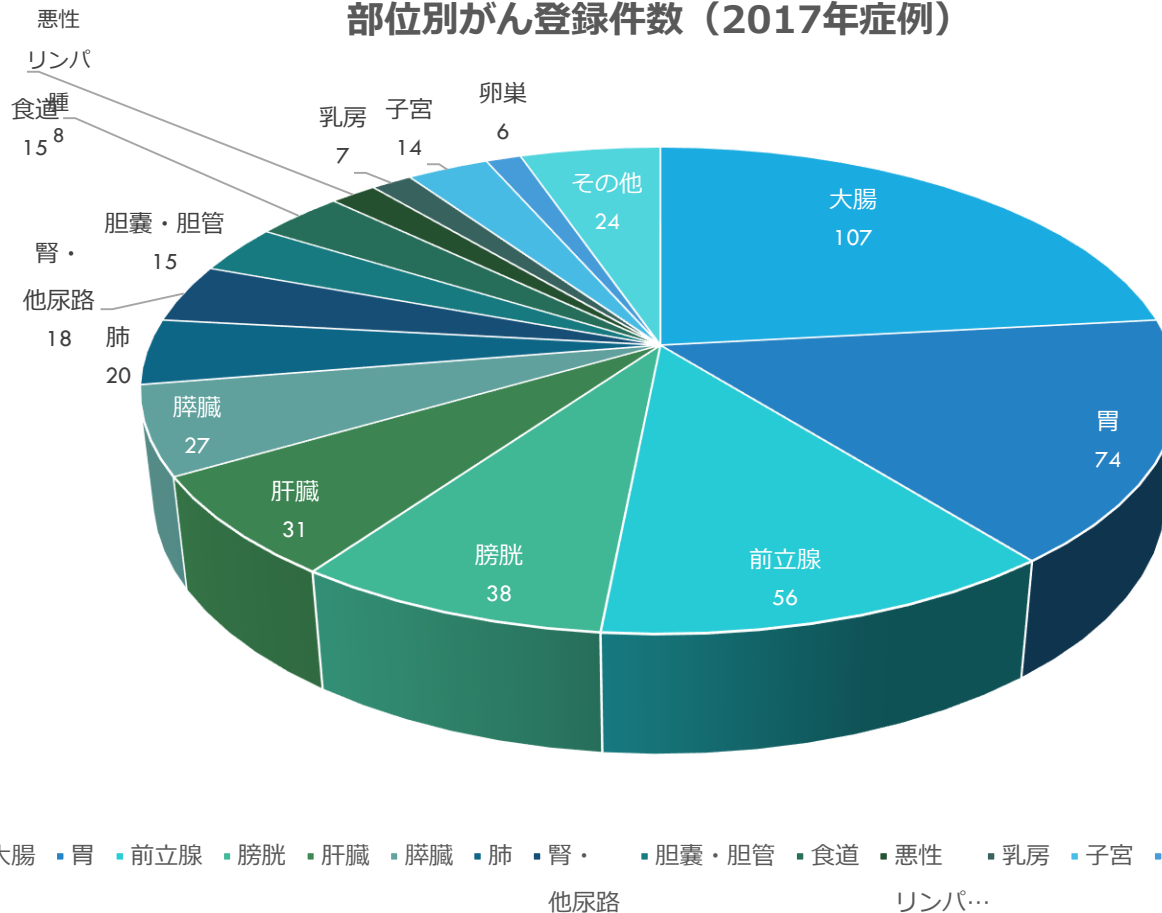
院内がん登録とは

院内がん登録は、病院で診断されたり、治療されたりしたすべての患者さんについての情報を、診療科を問わず病院全体で集め、その病院のがん診療がどのように行われているかを明らかにする調査です。病院にかかったすべてのがん患者さんという幅広い対象に対して調査を行いますので、病院のがん診療の特徴がよくわかります。

山陰労災病院は、平成25年法律111号がん登録等の推進に関する法律（平成28年1月1日施行）および院内がん登録の実施に係る指針（厚生労働省告示第470号）に基づいて、専門的ながん医療の提供を行う病院、地域におけるがん医療の確保について重要な役割を担う病院として、院内がん登録を実施しています。

山陰労災病院におけるがん登録

部位別がん登録件数（2017年症例）



山陰労災病院では、大腸がん、胃がん、前立腺がんの件数が多く、膀胱がん、肝臓がん、膵臓がん、肺がん、腎・尿路系がん、胆嚢・胆管がんの件数がそれに続きます。

山陰労災病院では、主に胃がんや大腸がん、肝臓がん等の消化器系のがん、膀胱がん、前立腺がん等の泌尿器系のがんを中心に診療しています。

また、乳がん、肺がんといった国民に多いがんについても、診療を行っています。

山陰労災病院の代表的ながん診療である胃がんと大腸がんについて、特徴をまとめてみました。

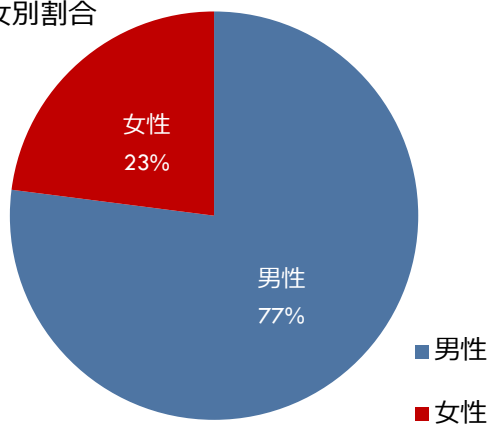
胃がん（2017年症例）

年齢・男女別内訳

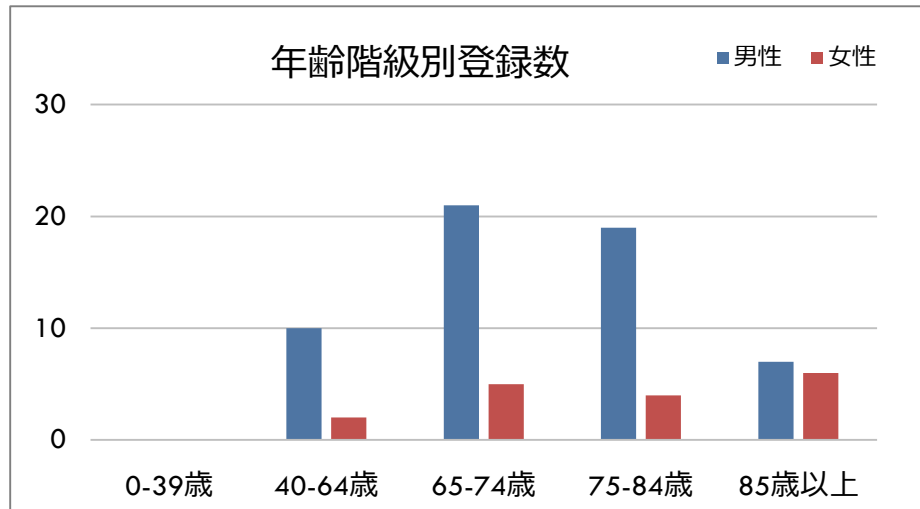
単位：件

	男性	女性
0-39歳	-	-
40-64歳	10	2
65-74歳	21	5
75-84歳	19	4
85歳以上	7	6
合計	57	17

男女別割合



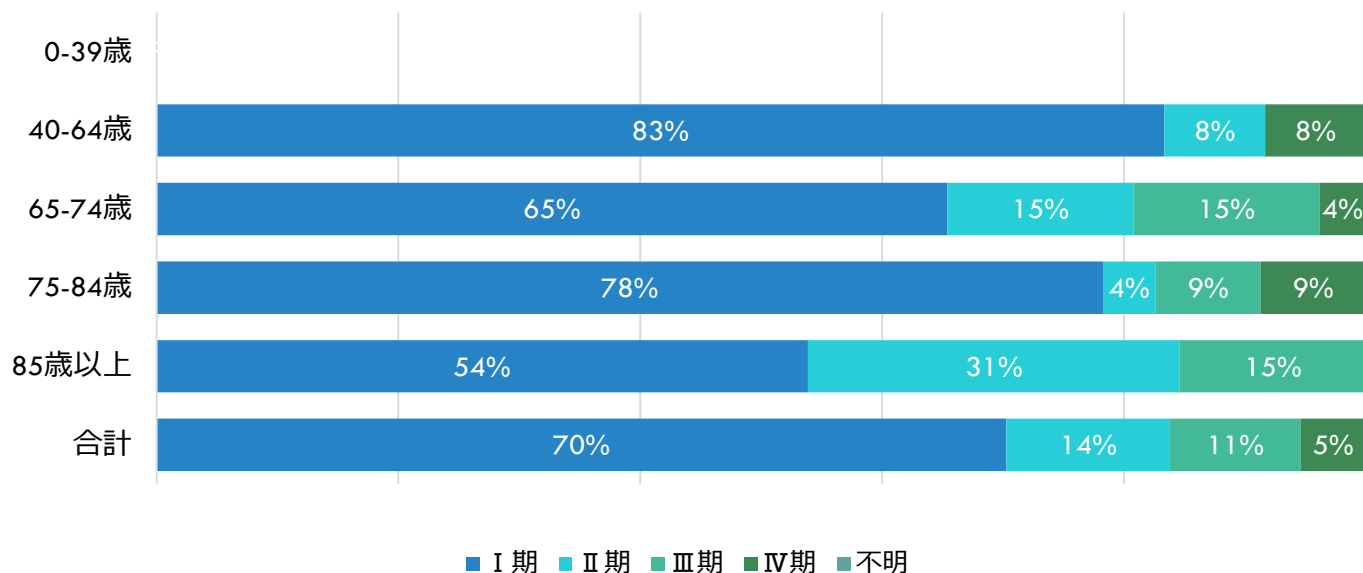
年齢階級別登録数



◆約8割弱を男性が占める。

◆65歳～74歳の間にみつかると多い。

年齢階級別ステージ割合

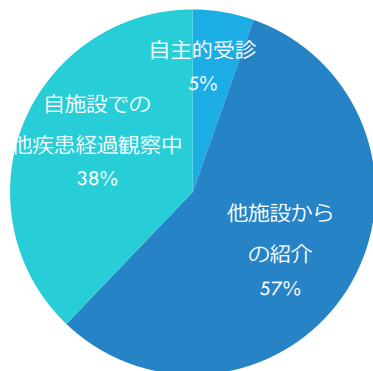


◆どの年代も比較的早期で発見される場合が多い。

来院経路

単位：件

	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
自主的受診	-	2	-	2	-	4
他施設からの紹介	30	6	5	1	-	42
自施設での他疾患経過観察中	22	2	3	1	-	28
その他	-	-	-	-	-	-
不明	-	-	-	-	-	-
合計	52	10	8	4	-	74

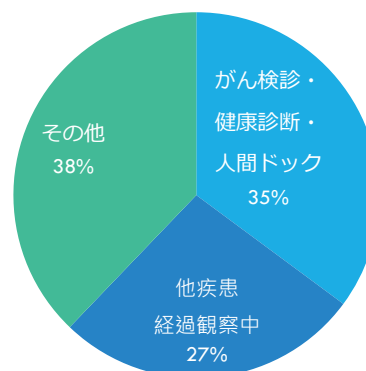


◆当院を受診した経緯は、「他施設からの紹介」が57%を占める。
◆当院に他疾患で通院中または治療中に発見されることも多い。

発見経緯

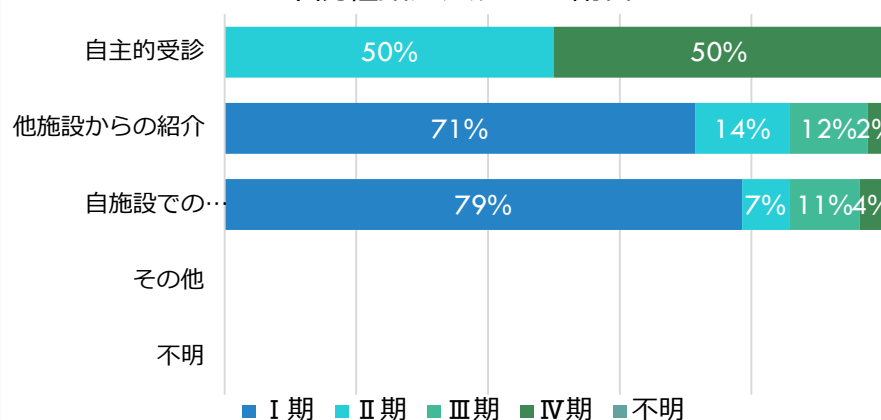
単位：件

	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
がん検診・健康診断・人間ドック	23	2	1	-	-	26
他疾患経過観察中	16	1	2	1	-	20
剖検発見	-	-	-	-	-	-
その他	13	7	5	3	-	28
不明	-	-	-	-	-	-
合計	52	10	8	4	-	74

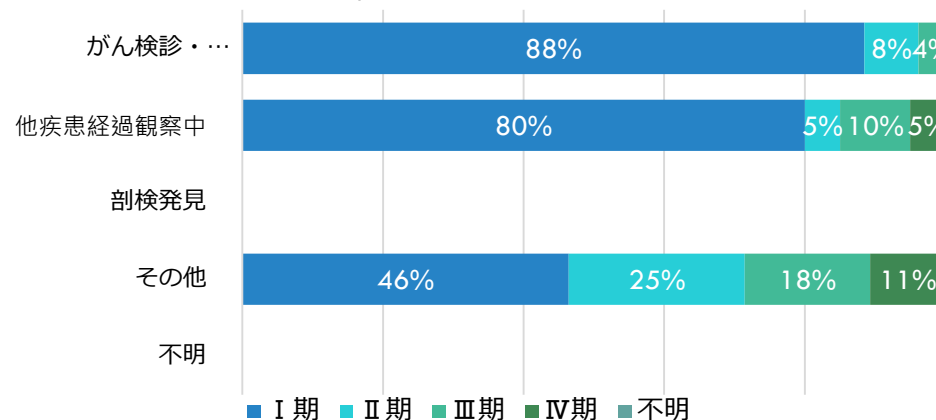


◆発見された経緯は、「その他」の割合が多く、症状を自覚して来院した場合などがこれに当たる。がん検診や人間ドックでまたは他疾患の経過観察中に見つかる場合も多い。
◆がん検診等の普及もあり、比較的早期で見つかる場合が多い。

来院経路別ステージ割合



発見経緯別ステージ割合



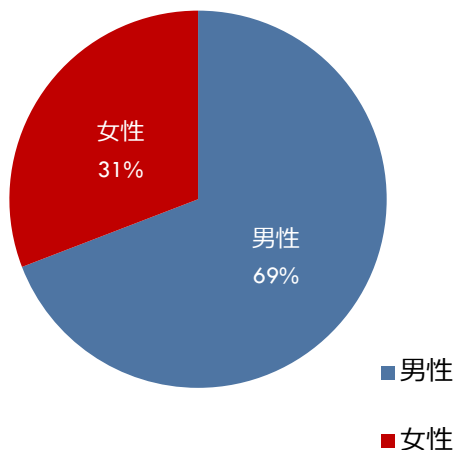
大腸がん（2017年症例）

年齢・男女別内訳

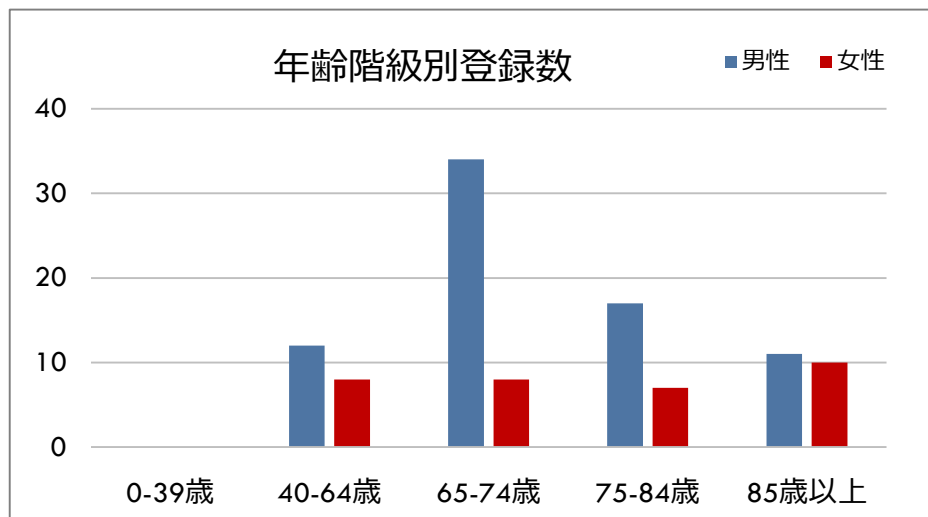
単位：件

	男性	女性
0-39歳	-	-
40-64歳	12	8
65-74歳	34	8
75-84歳	17	7
85歳以上	11	10
合計	74	33

男女別割合

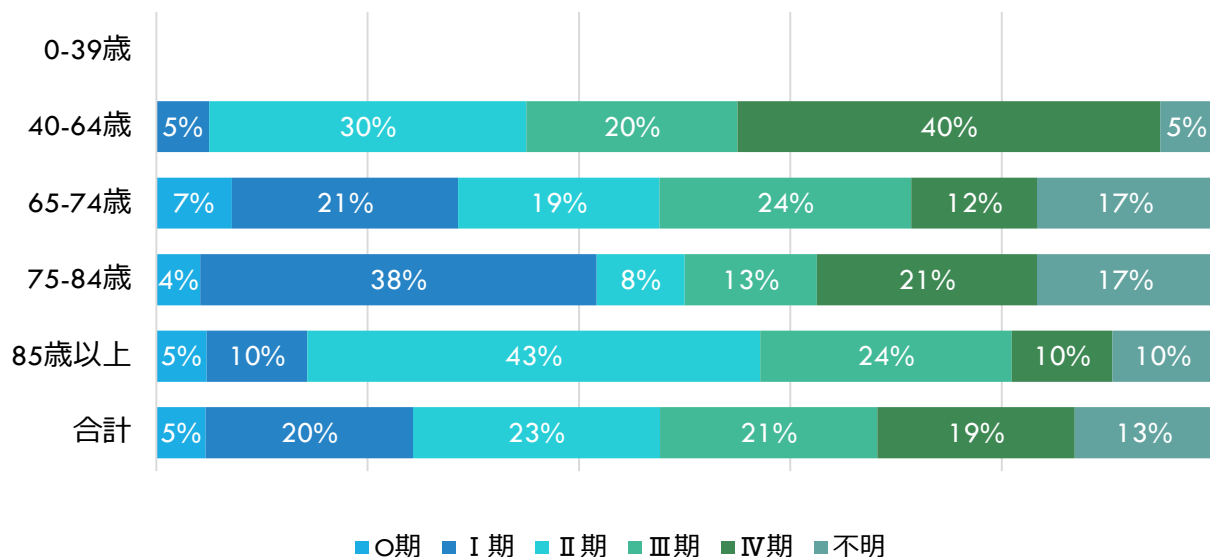


年齢階級別登録数



- ◆約3分の2を男性が占める。
- ◆65歳～74歳の間に見つかる場合が多い。

年齢階級別ステージ割合



- ◆胃がんと比べると、大腸がんは進行した状態で発見される場合が多い。
- ◆比較的若い世代（40歳～64歳）では、Ⅲ期以上で見つかる場合が60%を占める。

来院経路

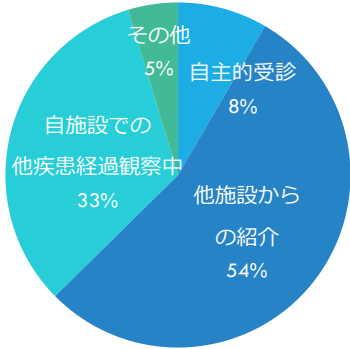
単位：件

	〇期	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
自主的受診	-	1	2	2	4	-	9
他施設からの紹介	2	7	13	14	14	8	58
自施設での他疾患経過観察中	3	12	8	5	1	6	35
その他	-	1	2	1	1	-	5
不明	-	-	-	-	-	-	-
合計	5	21	25	22	20	14	107

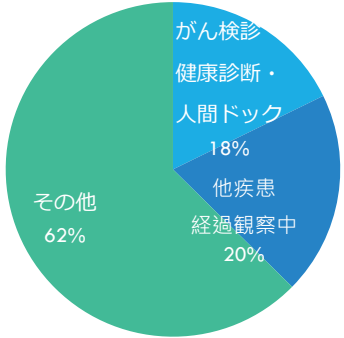
発見経緯

単位：件

	〇期	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
がん検診・健康診断・人間ドック	1	5	6	2	-	5	19
他疾患経過観察中	3	7	5	2	1	3	21
剖検発見	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	9	14	18	19	6	67
不明	-	-	-	-	-	-	-
合計	5	21	25	22	20	14	107

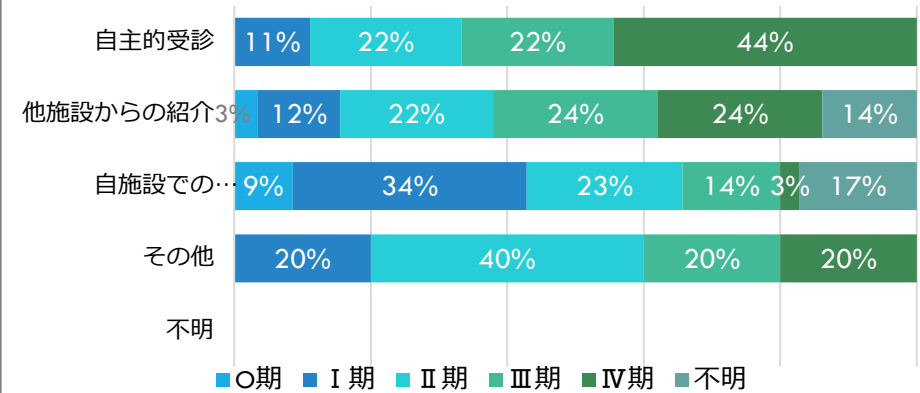


◆当院を受診した経緯は、「他施設からの紹介」が約半数を占める。
◆当院に他疾患で通院中または治療中に発見されることも多い。

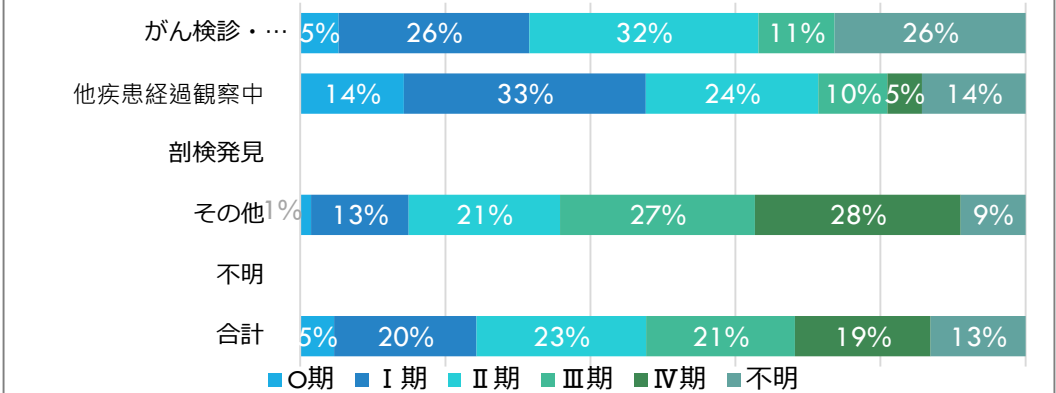


◆発見された経緯は、「その他」の割合が多く、症状を自覚して来院し見つかった場合などがこれに当たる。
◆検診や人間ドックで見つかる場合は、全体の18%、他疾患の経過観察中に見つかる場合は20%を占める。

来院経路別ステージ割合



発見経緯別ステージ割合



まとめ

～山陰労災病院のがん登録（2017年症例）～

胃がん

男女とも40歳くらいから注意しましょう！

- ・ 男性が約8割弱を占める。
- ・ 年齢階級別には、65歳～74歳でピークを示す。
- ・ がん検診等の普及もあり、比較的早期で見つかる場合が多い。
- ・ 「他施設からの紹介」で当院に来院される患者さんが約57%を占めるが、当院に他疾患で通院中または治療中である患者さんも多い。
- ・ 症状を自覚して来院し発見される場合が一番多いが、がん検診・人間ドックで発見される場合や他疾患経過観察中に偶然発見される場合も多い。

大腸がん

男女とも40歳くらいから注意しましょう！

- ・男性が約3分の2を占める。
- ・年齢階級別には、65歳～74歳でピークを示す。
- ・若い世代では比較的進行した状態で見つかることが多い。
- ・「他施設からの紹介」で当院に来院される患者さんが54%を占めるが、当院に他疾患で通院中または治療中である患者さんも多い。
- ・症状を自覚して来院し発見されるケースが最も多い。

胃がん・大腸がんは、
山陰労災病院の代表的ながん診療です。